

群馬県藤岡市中大塚方言の副助詞

新井 小枝子

I. はじめに

1. 調査対象地：藤岡市は群馬県の南西部に位置する東西に長い市で、東部は関東平野に連なって市街地が開けており、西部は御荷鉾山を中心とした山間地である。中大塚は市街地と山間地の境に位置する、人口約1,000人・世帯数約300戸の村落である。この村落では、苺・トマト・椎茸などの園芸農業を行っている農家が多い。また、かつては養蚕農家が多かった。近年、前橋長潁線バイパスが開通し中大塚を通過することによって、昔からの農村地帯も急激に変化している。道路沿いには多くの飲食店や大型スーパーが立ち並ぶようになり、藤岡市内からはもちろんのこと、近隣の市や埼玉県からの客も多くなった。鉄道は、高崎市と八王子市を結ぶJR八高線が市の東部を通過している。主要道路は国道17号線・254号線。バスの便は悪く、自家用車の利用率が極めて高い。
2. 調査年月日：1998年7月20日
3. 話者：新井貞さん 82歳 大正5（1916）年8月4日生まれ
4. 調査者・調査場所：新井小枝子・話者自宅
5. 調査方法：調査票に基づく面接調査
6. その他：
 - ・アクセントは「高」の部分に棒引きで示す。
 - ・「↑」は上昇調を示す。
 - ・「×」はその項目の内容に対する言い方がないことを示す。
 - ・関連して出現した表現は「*」を付して示す。
 - ・話者の発話はカタカナで示し、それについての解釈が必要な場合は（ ）で示す。
 - ・特記事項は〈 〉で示す。

II. 調査結果

(1) 添加・例示・提題などをあらわすもの

A. 添加

1. 雨だけでなく風さえ吹いてきた。 ○ア^ーメ^ーダ^ーケ^ーデ^ーナ^ーク カゼモ^ー ライテキタ。
〈「カゼセー」は言わない。〉
2. 今年は豊作で、米ばかりか麦もよくとれた。 ○コトシワ^ー ホーサク^ーデ^ー ムギ^ーダ^ーケ^ー ジャー^ーナ^ーク コメ^ーモ^ー ヨク^ー トレタ。(今年は豊作で麦だけではなく米もよくとれた。)

B. 予想外の事実

3. 小学生でさえ簡単にワープロを使っている。 ○ショ^ーガク^ーセ^ーデ^ーセ^ー カンタン

ニ ワープロー ツカテッル。

4. (宝くじが) 当たると思っていなかっただけに嬉しい。○マサカ アタルトワ
オモッテネーカラ ウレシカッタ。(まさか当たるとは思っていないから嬉し
かった。)

C. 条件

5. 暇さえあれば釣りに行っている。○ヒマセー アリヤー ツリニ イッテル。

D. 例示

6. まあお茶でも飲んでください。○マー オチャデモ ノミナイ。

7. おみやげにはこのまんじゅなどどうかな。①オミヤゲニ スルンニワ コノ マ
ンジューガ ヨカンペー。(お土産にするには、この饅頭が良いだろう。) / ②
〈誘〉コノ マンジューナンカ ドーダンペー。

8. 思わず跳び上がるほど嬉しかった。○トビアガルホド ウレシカッタ。

9. まさかあなたにまで話が行くとは思わなかった。○マサカ アンタニマデ ハナ
シガ イグトワ オモワナカッタヨ。

10. ながるやら蹴るやらの乱暴をはたらいた。①ナグッタリ ケッタリノ ランポー
シタ。 / ②〈誘〉ナグルノ ケルノノ ランポーオ シタ。

11. 私なりに相談してくれれば良かったのに。○アシニデモ ソーダン シテクレリ
ヤー ヨカタンニ。

12. 野菜なんていくらでもある。○ヤサイナンカ イククラダッテ アル。

一対の語の例示

13. しょうゆだってみそだって作っていたんだ。①ムカシワ ショーユダノ ミソダ
ノ カワズニ ミンチ ツクッテタンダ。(昔は、醤油も味噌も買わないで、み
んな作っていたんだ。) / ②〈誘〉ショウユダッテ ミソダッテ カワズニ ミ
ンチ ツクッテタンダ。

〈①「-ダノ～ダノ」が一般的〉

択一

14. 私なり弟なりがお手伝いに行きます。①アシナリ ヨメナリガ スケーイグヨ。
 / ②アシガ ヨメガ スケーイグヨ。(私か嫁のどちらかが手伝いに行くよ。)

例外でない

15. 村長とて、そうするより仕方なかったんだらう。○{①ソンチョーダッテ ②ソ
ンチョーモ} ソーニスルッキリ ショーガナカタンダンベ。

列举

16. 春らしくなって、梅も桜も一度に咲いた。○ハルラシクナッテ アンズダノ サ
クラダノガ イッペンニ サイタ。(春らしくなって、杏も桜もいっぺんに咲
いた。) 〈群馬での現実を反映をして、梅ではなく杏で表現された。〉

同類の暗示

17. テレビもそろそろ買い替えよう。○コノ テレビモ ソロソロ トッケーベ。
やわらげ
18. まお茶でも飲んでください。○マー オチャデモ ノンデクンナイ。

E. 包括

19. 盆には子や孫などが帰ってくる。○ボンニワ コダノ マゴダノガ オキヤクニ
グル。

F. 提題

20. ゲートボールだってできるよ。①ゲートボールモ デキルヨ。/②ゲートボール
ダッテ デキルサー。

話題にあげる

21. 何だい、いいことって。○ナーニ↑、イーコトッテ。

極端なものの提示

22. そんなこと子供にでもできるよ。○ソソナコター コドモニダッテ デキルサー。

23. 食べることくらいは何とかしたい。○クエコトグレー ヒトリデ ナントカ シ
テ。(食べることくらい、一人で何とかしたい。)

24. 名前すらろくに覚えていない。○ナメーダッテ ロクニ オボエチャー イラン
ネ。

25. 弁当代に千円もかかった。○ベントーダイガ センエンモ カカッタ。

軽いものをあげる

26. これさえあればもう大丈夫だ。○コレセ アリー ハー ダイジョブダ。

(2) 分量・程度・基準などをあらわすもの

G. 分量・程度

27. 旅行で三日ほど家をあけた。○リョコーデ {①ミッカモ ②ミッカバッカリ
③ミッカグレー} ウチ アケタ。

* {①ミッカモ ②ミッカバッカリ} ウチ アケタラ ウチンナカガ チラ
カッテ チラカッテ。(この場面では「グレー」は使わない。)

* {①ヒトツモ ②ヒトツバッカリ} クレトクレ。(一つだけでもください。)
(この場面でも「グレー」は使わない。)

*イチンチモ ハタケ イガナケリヤー ハー クサガ イッペーンナッチマ
ウ。(一日畑に行かなければ、もう草がいっぱいになってしまう。)(この場面
では「バッカリ、グレー」は使わない。)

28. 茶碗に半分くらいください。○チャワンニ {①ハンブンモ ②ハンブングレー}
クレトクレ。

29. 子供にでもわかるくらいのやさしい本だ。 ○コドモニモ ワカルグレーノ ヤサ
シー ホンダ。
30. 一週間ばかり留守にするので頼むよ。 ① {①イッシュューカンモ ②イッシュューカ
ンバー} ルスニ スルカラ タノマイネ。 / ② {①イッシュューカンモ ②イッ
シューカンバー} アスンデクルヨ。(一週間ばかり遊んでくるよ。)

H. 基準

31. 今年の寒さは去年ほどではない。 ○コトシノ サムサワ キョネンホドジャーネ
ー。

I. 理由

32. ちょっと油断したばかりにとんでもないことになってしまった。 ○チョット
{①ユダンシタベーニ ②ユダンシタバッカリニ} トーデモネーコトナッ
チャッタヨ。

J. 「それにふさわしく」

33. 苦勞しただけあって人間ができています。 ○アノ ヒトワ クローシタダケアッテ
ニンゲンガ デキテルヨ。

形式名詞的用法

34. 毎日孫の守りやなんかで忙しい。 ○マインチ マゴノ モリヤ ナンカデ イソ
ガシー。

「それこそ」

35. それこそバケツをひっくりかえしたような大雨だ。 ○キョーノ ユーダチワ ソ
レッコソ バケツー ヒックルケーシタヨーダッタ。

36. 父ばかりか母もスポーツ好きだ。 ○チチダケジャーナク ハハモ スポーツズキ
ダ。

K. 今にも行われる

37. もう食べるばかりにしてある。 ○モー タベルバッカリニ シテアルカラネ。

動作の完了直後

38. 今、仕事から帰ったばかりだ。 ○チョードヨカッタ、イーマ ノラカラ ケーッ
テキタバッカリダヨ。

基準

39. 駅までもうちょっとだ。 ○エキマデ {①イマチンバーダ ②イマチットダ。
③アト スゴシダ。}

L. 等量の反復

40. 一人ずつ呼んで話をした。 ○ヒトリツツ ヨンデ ハナシー シタ。

M. 等量の配分

41. 一人に二個ずつみかんをやる。 ○ヒトリ フタツツツ ミカンオ ヤル。

(3) 限定・限界などをあらわすもの

N. 限定

42. 酒はたまにしか飲まない。 ○サケワ タマニキシヤ ノマナー。
43. 今朝は寝坊をしてパンだけ食べて来た。 ①アサネ シチャッタカラ ヤーット
パンダケ クッテキタ。 / ②アサネ シチャッタカラ パンデ スマシテキチャ
ッタ。 / ③アサネ シチャッタカラ パンキリ クッテキナカッタ。
(「朝寝坊をする」はアサネで表現される。)
44. そんなに勉強ばかりしていると体に毒だよ。 ○ソナニ ベンキョーベー シテ
ルト カラダニ ドクダヨ。
45. うちの田が残っているきりで、よそは全部終わった。 ○ウチノ タンボガ {①
ノゴッテルッキシデ ②ノゴッテルッキリデ} ヨソワ ミーンナ オワッテル。

O. 強調

46. もうこれだけしかない。 ○ハー {①コレッキシ ②コレッキリ} ナイヨ。
47. 今年こそいい年にしたい。 ○コトシゴソ イー トジニ シタイナー。

P. 限界

48. これだけ言っても分からないのか! ○コーンナニ ユッテモ ワカンネンカ。
49. 2千円くらいまでなら何とかなる。 ○ニセンエングレーマデナラ チントカナル
ヨ。

(4) 陳述的なもの

Q. 「～ば～だけ」

50. 肥料をやればやるだけよく育つ。 ○コヤシー クレレバ クレタダケ ヨクナル。
「仮定形・ば・こそ」
51. 心配すればこそ言うんだ。 ○シンパイスレバゴソ ユンダカラ ユーコトー
キカナケリヤー ダメダヨ。(心配すればこそ言うのだから、言うことを聞かな
なければだめだよ。)
*シンパイスルンワ オヤダカラゴソナング。(心配するのは親だからこそなの
だ。)

「こそ・仮定形」

52. 彼は文句こそ言え、人の言うことなど聞かない。 {①モンクゴソ ②モンクベー}
ユッタッテ コッチノ ユーコトナンカ チットモ キキャーシネー。
53. 「～でこそあれ」という言い方はありますか。×
「未然形・ば・こそ」
54. 押しても引いても動かばこそ。 ○オシタッテ ヒータッテ ドーシタッテ ウゴ

カネー。

「～こそ。」

55. 失礼なことを言わないでこそ。×

「～こそ～が」

56. 今でこそ家から出ないが、昔はよく出歩いていた。○イマデコソ ウチカラ デ
ランナクナッチャッタケド ムカシワ ヨク デアルッテタンダヨ。

「～ば～ほど」

57. 働けば働くほどもうかる。○ハタラキヤー ハタラクホド モーカルヨ。

R. 打ち消しとの呼応

58. 村長に聞くまでもないことだ。○ソナコトー キクマデモネーコトダヨ。ワカ
リキッテルモアー。

否定と呼応（それさえもない）

59. 朝から忙しくて昼飯も食えない。○アサッカラ イソガシクッテ オヒルモ ク
エネーヨ。

否定的取り上げ

60. こんなものなどいくらでもあるよ。①コンナモン イックラデモ アルヨ。

／②コンナモンナンカ イックラダッテ ソコイラニ コロガッテルヨ。（こん
なものなどいくらでもそこら辺に転がっているよ。）

*ナオチャンナンカガ イッタヨ。（ナオちゃん達が行ったよ。）〈ナンカには、
「達」という使い方がある。くだけた言い方。〉

全面否定

61. 誰だってそんなことを言われたら怒るよ。○ダレダッテ ソナコトー ユワレ
リヤー オコルヨ。

S. 次の動作が不可能

62. 10年前に故郷を離れたきり、一度も帰っていない。○ジューネンメー ウチー
デタッキリ イッペンモ ケーッテキネー。

(5) モダリティー的なもの

T. 不確かな気持ち

63. いつのまにやら眠ってしまった。①シラネーマニ ネチャッタ。／②〈誘〉イー
ツノ マニカ ネチャッタ。

*「眠る」主体は、自分でも自分以外でも可。

64. 何のことか分からない。○チーンノ コトダガナ ワカンネー。

推定

65. 後で遊びに行くかもしれない。○アトデ アスビー イグカシンナイヨ。

どちらか分からない

66. 来るのやら来ないのやらよく分からない。 ① $\overline{\text{クルンカ}}$ $\overline{\text{キネーンカ}}$ $\overline{\text{ワカンネー}}$ 。
/② $\overline{\text{クルンダガナ}}$ $\overline{\text{キネーンダガナ}}$ $\overline{\text{ヨクワカンネー}}$ 。

はっきり言わない

67. どこやらへ引っ越したそうだ。 ○ $\overline{\text{ドッカイ}}$ $\overline{\text{ヒッコシチャッタンミテーヨ}}$ 。

U. 非難

68. お父さんたら今日も遅いのね。 ×

次のような内容で使うのが自然

○ $\overline{\text{タラ}}$ $\overline{\text{アソコイッテ}}$ $\overline{\text{コンナコトユッタダヨ}}$ 。 $\overline{\text{マッタク}}$ $\overline{\text{ヤンナッチャウ}}$ 。($\overline{\text{タラ}}$ 、あそこに行ってこんなこと言ったんだって。まったく嫌になってしまう。)

69. お父さんてば、子供のようなことを言って。 ×

次のような内容で使うのが自然

○ $\overline{\text{テバ}}$ $\overline{\text{コンナコト}}$ $\overline{\text{ユッテ}}$ $\overline{\text{イッショニ}}$ $\overline{\text{イルモンガ}}$ $\overline{\text{ハジーカイトヨ}}$ 。
($\overline{\text{テバ}}$ 、こんなこと言って一緒にいるものが恥をかいたよ。)

*68より69の方が強い非難。

Ⅲ. 総括(まとめ)

以下、群馬県藤岡市中大塚方言に特徴的と考えられるものを簡単に記す。

- 分量(27, 28, 30)を表すためには=モ・=バックリ・=グレーの形式が現れる。分量のうち程度(29)には=グレーの形式のみ現れる。
- 限定(42~45)には=ダケ・=キリ・=キシ・=デの形式が現れる。共通語との対応関係がわかるように示せば次の通りである。

～しか	=キシヤ
～だけ	=ダケ・=デ スマセル・=キリ
～ばかり	=ベー
～きりで	=キシデ・=キリデ

また、これらの限定をさらに強調(46)した表現「～だけしか」は、促音が挿入された=ッキシ・=ッキリで表現される。
- 一対の語の例示(13)「-だって～だって」、包括(19)「-や～など」は、-ダノ～ダノで表現される。
- 例示(7)「～だの」、(12)「～なんて」、否定的取り上げ(60)「～など」は、=ナンカで表現される。=ナンカは否定的意味で使われる場合とそうでない場合がある。

(あらいさえこ 作新学院女子短期大学)